

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第11期4月度理事会議事録

- I. 日 時：平成26年4月26日（土）13:15～16:15
- II. 場 所：東京都港区 TKP田町カンファレンスセンター B1会議室
- III. 出席者数：理事総数26名 出席理事数26名（内委任出席5名）
- IV. 出席理事氏名：木戸康博（理事長）、鈴木公（副理事長）、池本真二、石田裕美、上西一弘、岡純、笠原賀子、亀井明子、川島由起子、河野美穂、齋藤長徳、酒井映子、坂井堅太郎、酒井徹、鈴木和春、富田教代、新澤祥恵、早渕仁美（第62回学術総会会長）、藤田修三、南久則、八木典子、荒川義人（委任出席）、石見佳子（委任出席）、田中弘之（委任出席）、寺本房子（委任出席）、春木敏（委任出席）
- 出席監事氏名：酒元誠治、林静子
- その他の出席者：中村丁次第61回学術総会会長（代理：鈴木志保子同学術総会総務委員長）

V. 審議事項

【I. 庶務関連事項】

1. 役員の異動
2. 会員の異動
 - (1) 休会届
 - (2) 協力会員の退会
3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦
4. 終身会員に関する細則の改定
5. 役員選出方法の見直しー関連細則の改定ー
6. 学術総会剰余金ー支部追加活動費ーにかかる規程の改定
7. 次期評議員候補者の選出
8. 平成26年度通常総会の運営
9. 今後の会議予定

【II. 財務関連事項】

1. NPO第11期経費執行状況と見込決算
2. NPO第11期会員（会費納入）の状況

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況

【IV. 学術関連事項】

1. NPO第11期事業執行状況
2. 平成26年度功労賞・学会賞・奨励賞
3. 第60回学術総会への消耗品の寄付と剰余金
4. 第61回学術総会準備状況
5. 第62回学術総会準備状況
6. 第63回（2016年）学術総会会長候補者の推薦
7. 管理栄養士養成課程における教育のあり方ー専門基礎分野・専門分野の実験、実習、演習の提案ーの検討
8. 倫理審査委員会報告
9. 出版事業
 - (1) 「コアカリ準拠教科書」シリーズ
 - (2) 用語に関する書籍の出版
10. 実践栄養学研究セミナーin横浜（2014年開催）事業

11. 関連学協会等との連携

- (1) 厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2015年版）策定検討会」報告書の公表・周知協力
- (2) 厚生労働省「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等に関するワーキンググループ」中間とりまとめ（案）公表・周知協力
- (3) 公益社団法人日本栄養士会「第6回栄養と健康を考える有識者の会」への出席
- (4) CKD啓発イベント講演会「ストップ・ザ・腎不全：～シームレスなCKD診療～」への参加
- (5) IUNS栄養学リーダーシップ育成国際ワークショップへの出席
- (6) 公益社団法人日本油化学会関東支部「平成26年度第1回油化学セミナー ペプチド素材ネットワークサンス～機能性ペプチドの魅力に迫る～」への協賛・周知協力
- (7) 日本アミノ酸学会「第4回産官学連携シンポジウム」協賛・周知協力
- (8) 第8回子どもの食育を考えるフォーラム実施報告（後援御礼）
- (9) 独立行政法人国立健康・栄養研究所「アジア栄養ネットワークシンポジウム」実施報告（後援御礼）
- (10) 独立行政法人日本学術振興会「第11回（平成26年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について」周知協力
- (11) 独立行政法人日本学術振興会「第5回（平成26年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について」周知協力
- (12) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」周知協力
- (13) 公益財団法人住友生命健康財団「2014年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」周知協力
- (14) 公益財団法人ロッテ財団「2015年度研究助成事業」周知協力
- (15) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成26年度助成決定」報告
- (16) お茶の水女子大学生生活環境教育研究センターSHOKUIKU総合研究部門「多様な食育の場に対応可能な高度専門家の育成」プロジェクト平成25年度活動報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業

【VI. 国際関連事項】

1. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ
2. 第12回アジア栄養学会議（ACN2015）

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会
2. 東北支部会
3. 関東・甲信越支部会
4. 北陸支部会
5. 東海支部会
6. 近畿支部会
7. 中国支部会
8. 四国支部会
9. 九州・沖縄支部会

【VIII. NPO第12期事業計画案及び予算案の骨子】

1. NPO第12期事業計画案及び予算案の骨子

【IX. 回覧資料等による各種報告】

1. 学会誌転載許諾
 - (1) 株式会社ヤクルト本社研究所
 - (2) 酪農学園大学（機関リポジトリ）

2. 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会「許諾抄録利用料金（2013年分）支払報告」

VI. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 庶務関連事項】

1. 役員の異動・・・4月16日現在の役員名簿が配付された。評議員は3月31日付けで7名退会、1名辞任のため、現在は390名であることが報告された。
2. 会員の異動
 - (1) 休会届・・・1名の会員から提出された休会届が回覧され、これを承認した（会員に関する細則第4条）。なお休会会員の氏名は個人情報保護の立場から非公開とする。
 - (2) 協力会員の退会・・・平成26年3月31日付けで、株式会社システムダイナミックスが退会した。
3. 名誉会員及び終身会員候補者の推薦・・・4月13日に開催した名誉会員・終身会員推薦委員会の報告を受け、次の5名を総会に推薦することを承認した。
〔名誉会員候補者〕 徳留信寛、徳留裕子、中坊幸弘
〔終身会員候補者〕 梶本雅俊、徳江千代子
4. 終身会員に関する細則の改定・・・4月13日に開催した名誉会員・終身会員推薦委員会で、終身会員の推薦条件（正会員歴）の見直しについて意見が出された。これを反映した細則の改定案が配付され、原案を承認した。承認された細則は別紙のとおりである。
5. 役員選出方法の見直しー関連細則の改定ー・・・前回理事会で提案した改定案について、各理事持ち帰って審議を行い、3月31日提出期限で意見を求めた。提出された意見を踏まえて修正した関連細則（理事長及び副理事長に関する細則、理事に関する細則、監事に関する細則）の改定案が配付され、原案を承認した。承認された細則は別紙のとおりである。
6. 学術総会剰余金ー支部追加活動費ーにかかる規程の改定・・・前回理事会で提案した関連規程（学術総会の運営に関する申し合わせ、地方支部会に関する細則、地方支部会に関する申し合わせ）の改定案について、各理事持ち帰って審議を行い、3月31日提出期限で意見を求めたところ、意見がなかったことが説明され、原案を承認した。承認された細則、申し合わせは別紙のとおりである。
7. 次期評議員候補者の選出・・・新規一般推薦（評議員3名または正会員5名の推薦）候補者46名が配付資料により提案され、来る評議員会に上程することを承認した。重任候補者、日本栄養士会長推薦候補者については次回理事会で提案する旨、説明があった。8月総会への上程に向け候補者の推薦締切を3月31日で行ったため、所属・職位等、不完全な状況であることが説明され、総会までに事務局で確認作業を行うことが補足された。
8. 平成26年度通常総会の運営・・・議事次第、スケジュール（開催通知の発送、会議資料の作成等）について原案を承認した。総会の会期が1ヶ月早いことから、総会資料作成スケジュールの厳守（特に地方支部会）を確認した。
9. 今後の会議予定・・・次のとおり了承した。8月20日の理事会は学術総会期間中の理事会であるため学会では旅費を支給しないことを確認した。

〔総会〕 8月20日

〔評議員会〕 8月20日

〔理事会〕 7月26日、8月20日、11月8日、2月7日、4～5月（期日未定）

〔監事会〕 8月19日

〔役付き理事打合会〕 7月12日、10月11日、1月16日、4月（期日未定）

〔栄養学雑誌編集委員会〕 6月8日、8月9日、10月4日、11月30日、2月8日

【II. 財務関連事項】

1. NP0第11期経費執行状況と見込決算・・・4月22日現在の経費執行状況（活動計算書、事業別損益計算の状況、貸借対照表、収支計算内訳書）と年度末見込計算書が配付され、これを了承した。

2. NPO第11期会員（会費納入）の状況・・・4月9日現在の支部会・都道府県別会員数と入会年度別退会会員数（25年度末・24年度末・23年度末）が配付された。25年度新入会員926名のうち1年で退会した会員は242名（26.1%。会員種別では正会員16.1%、学生会員40.3%）であることが報告された。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌投稿・掲載等の状況・・・4月11日現在の投稿・掲載状況が配付資料により報告された。J-STAGEの電子投稿システムサービスに応募しているが投稿数不足のため採択されないことが説明され、栄養学雑誌への積極的な投稿をお願いしたい旨、発言があった。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. NPO第11期事業執行状況・・・4月22日現在の事業執行状況が配付資料により報告され、これを了承した。

2. 平成26年度功労賞・学会賞・奨励賞・・・4月21日に開催した学会賞等選考委員会の報告を受け、平成26年度の受賞者を次のとおり決定した。学会賞（該当者なし）について質問があった。

功労賞（1名）：吉池信男

学会賞（0名）：該当者なし

奨励賞（2名）：松本（會退）友美、谷内洋子

3. 第60回学術総会への消耗品の寄付と剰余金・・・第60回学術総会会長より、学術総会で購入した消耗品（プリンター等237,931円）について、事務局を設置していた兵庫県立大学に寄贈したい旨、書面により申し出があり、これを承認した。第60回学術総会事業の剰余金について、本理事会で承認された規程に基づき、NPO第12期の支部会追加活動費とすることを承認した。各支部への追加額は、本理事会に出席している支部長または支部会選出理事全員の意見を踏まえ、次のとおり承認した。追加活動費の使途について確認した。

〔NPO第12期支部会追加活動費〕

近畿支部会（第60回学術総会担当）：20万円

他の8支部会：各10万円

4. 第61回学術総会準備状況・・・演題登録状況、参加登録状況が報告され、4月21日現在の企業協賛申込状況が配付された。広告・展示協賛申込数は予算に対して苦戦していることが説明され、理事会も協力することを了承した。

5. 第62回学術総会準備状況・・・学術総会名誉顧問に小川洋福岡県知事、梶山千里福岡女子大学理事長・学長が推薦され、これを承認した。

6. 第63回（2016年）学術総会会長候補者の推薦・・・NPO第10期5月度理事会（平成25年5月18日）で承認された、学術総会開催地の支部会持ち回り順が配付された。第63回を担当する東北支部会から、次回理事会に学術総会会長候補者を提案することを確認した。

7. 管理栄養士養成課程における教育のあり方ー専門基礎分野・専門分野の実験、実習、演習の提案ーの検討・・・役付理事メンバーで最終調整を行っており、NPO第12期に理事会案として採択出来るよう、進めていることが報告された。

8. 倫理審査委員会報告・・・4月24日現在の倫理審査状況が配付資料により報告された。

9. 出版事業

（1）「コアカリ準拠教科書」シリーズ・・・講義編9巻の刊行が完結し、実習編3巻（臨床栄養学、給食経営管理論、臨地実習）は当初の刊行予定から遅れていることが報告された。

（2）用語に関する書籍の出版・・・刊行に向けて作業中であることが報告された。

10. 実践栄養学研究セミナーin横浜（2014年開催）事業・・・栄養学雑誌72巻2号に掲載した開催予告が配付された。講師にはお茶の水女子大学赤松利恵准教授を迎え、「質問紙（票）」の作り方にスポットを当てたワークショップ形式のセミナーを企画していることが説明された。

11. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これ

を了承した。

- (1) 厚生労働省「日本人の食事摂取基準（2015年版）策定検討会」報告書の公表・周知協力
- (2) 厚生労働省「特定健診・保健指導の医療費適正化効果等に関するワーキンググループ」中間とりまとめ（案）公表・周知協力
- (3) 公益社団法人日本栄養士会「第6回栄養と健康を考える有識者の会」への出席
- (4) CKD啓発イベント講演会「ストップ・ザ・腎不全：～シームレスなCKD診療～」への参加
- (5) IUNS栄養学リーダーシップ育成国際ワークショップへの出席
- (6) 公益社団法人日本油化学会関東支部「平成26年度第1回油化学セミナー ペプチド素材ネットワークサミット～機能性ペプチドの魅力に迫る～」への協賛・周知協力
- (7) 日本アミノ酸学会「第4回産官学連携シンポジウム」協賛・周知協力
- (8) 第8回子どもの食育を考えるフォーラム実施報告（後援御礼）
- (9) 独立行政法人国立健康・栄養研究所「アジア栄養ネットワークシンポジウム」実施報告（後援御礼）
- (10) 独立行政法人日本学術振興会「第11回（平成26年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について」周知協力
- (11) 独立行政法人日本学術振興会「第5回（平成26年度）日本学術振興会育志賞受賞候補者の推薦について」周知協力
- (12) 一般財団法人東京顕微鏡院「遠山椿吉記念食と環境の科学賞」周知協力
- (13) 公益財団法人住友生命健康財団「2014年度スミセイコミュニティスポーツ推進助成プログラム」周知協力
- (14) 公益財団法人ロッテ財団「2015年度研究助成事業」周知協力
- (15) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成26年度助成決定」報告
- (16) お茶の水女子大学生生活環境教育研究センターSHOKUIKU総合研究部門「多様な食育の場に対応可能な高度専門家の育成」プロジェクト平成25年度活動報告

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・4月22日までの更新情報が配布資料により報告された。

【VI. 国際関連事項】

1. IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ・・・3月11日～13日に、独立行政法人国立健康・栄養研究所等において開催したワークショップについて配付資料により報告された。
2. 第12回アジア栄養学会議（ACN2015）・・・評議員にメール通信にて情報提供したセカンドアナウンスメント、ボランティア募集の資料が回覧された。前回理事会で承認された共催シンポジウムについて企画段階であることが説明された。

【VII. 支部会報告】

1. 北海道支部会・・・第12回支部会学術総会は、板垣康治北海道文教大学教授を学術総会会長とし、12月6日に開催する。会員増、評議員増に向けて引き続き取り組む旨、書面により報告があった。
2. 東北支部会・・・3月29日に市民公開講座を開催した。第1回支部会学術総会は、鈴木道子山形県立米沢栄養大学学長を学術総会会長とし、11月1日～2日に開催する。第63回学術総会に向けて支部会幹事会で検討している。
3. 関東・甲信越支部会・・・第1回支部会学術総会は、武見ゆかり女子栄養大学教授を学術総会会長とし、2月23日に開催した。今期は市民公開講座は実施しない。第2回支部会学術総会は石見佳子独立行政法人国立健康・栄養研究所部長を学術総会会長とし、開催する。
4. 北陸支部会・・・第9回支部会学術総会は、清水瑠美子公益社団法人福井県栄養士会会長を学術総会会長とし、2月23日に福井織協ビルで市民公開講座とともに開催した。第10回支部会学術総会は、2月22日に石川県で開催する。

5. 東海支部会・・・第3回支部会学術総会は、長村洋一鈴鹿医療科学大学教授を学術総会会長とし、6月29日に鈴鹿医療科学大学で市民公開講座とともに開催する。
6. 近畿支部会・・・日本栄養・食糧学会近畿支部会と共催する第4回栄養学を志す若手のためのフォーラムは、3月3日に京都女子大学で開催した。第13回支部会学術総会は、宮崎由子京都女子大学教授を学術総会会長とし開催する。次期評議員候補者の選出にあたっては、唯一評議員が不在の和歌山県所属会員の選出を課題としている。
7. 中国支部会・・・第10回支部会学術総会は、坂井堅太郎広島女学院大学教授を学術総会会長とし、7月5日～6日に、広島女学院大学で市民公開講座（7月5日）とともに開催する。評議員増に向けて取り組んでいる。
8. 四国支部会・・・第1回支部会学術総会は、酒井徹徳島大学教授を学術総会会長とし、5月17日に徳島大学で市民公開講座とともに開催する。評議員増に向けて取り組んでいるが、なかなか実績につながらない。
9. 九州・沖縄支部会・・・第2回支部会学術総会は9月2日～3日に、佐賀県で開催する。

【Ⅷ. NP0第12期事業計画案及び予算案の骨子】

1. NP0第12期事業計画案及び予算案の骨子・・・事業計画案と予算案が配付された。本理事会で承認された支部会追加活動費を追加し、当期収支差額が1,100万円程度の赤字予算であることが説明された。監事から赤字予算について発言があった。

【Ⅸ. 回覧資料等による各種報告】

1. 学会誌転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
 - (1) 株式会社ヤクルト本社研究所
 - (2) 酪農学園大学（機関リポジトリ）
2. 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会「許諾抄録利用料金（2013年分）支払報告」・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。

Ⅶ. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、南久則理事及び八木典子理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上